

2023年3月期 第2四半期決算補足説明資料

株式会社インプレスホールディングス
(スタンダード：9479)

2022年11月10日

免責事項

本資料の取り扱いについて 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。当社は、本資料の情報の正確性あるいは完全性について、何ら表明及び保証するものではありません。

2023年3月期 第2四半期業績

2023年3月期 第2四半期業績ハイライト

- 連結売上高は7,247百万円（前期比+3.8%/+264百万円）。
- イカロス出版（前第2四半期末より連結開始）は、売上高482百万円で増収には寄与したものの、イカロス出版以外の出版・電子出版等の減収（前期比▲10.1%/▲380百万円）が影響し、営業利益は179百万円（前期比▲65.2%/▲336百万円）、経常利益は213百万円（前期比▲61.4%/▲338百万円）。
- 当期純利益は147百万円（前期比▲75.6%/▲456百万円）
※前期はイカロス出版の子会社化による負ののれん発生益などで特別利益237百万円を計上。
- 出版・電子出版は、イカロス出版の連結により467百万円の売上増加があったものの、電子出版は前期の電子書店の大型キャンペーンの反動、紙の出版についても前期の大型タイトル刊行の反動・巣ごもり需要の一巡による出荷減が影響し、売上高3,861百万円（前期比+2.3%/+87百万円）に留まる。
- ネットメディア・サービスは、巣ごもり需要の一巡や不透明な景気動向が影響し、Impress Watchのデジタル広告等が減収となり、売上高859百万円（前期比▲5.5%/▲49百万円）。
- ターゲットメディアは、イベント収入の好調が持続し、売上高591百万円（前期比+13.8%/+71百万円）。
- プラットフォーム事業は、人気タイトルが牽引し電子コミックプラットフォームが好調。POD出版プラットフォームもメディアドゥとの協業開始により増収となり、売上高1,358百万円（前期比+13.6%/+162百万円）。

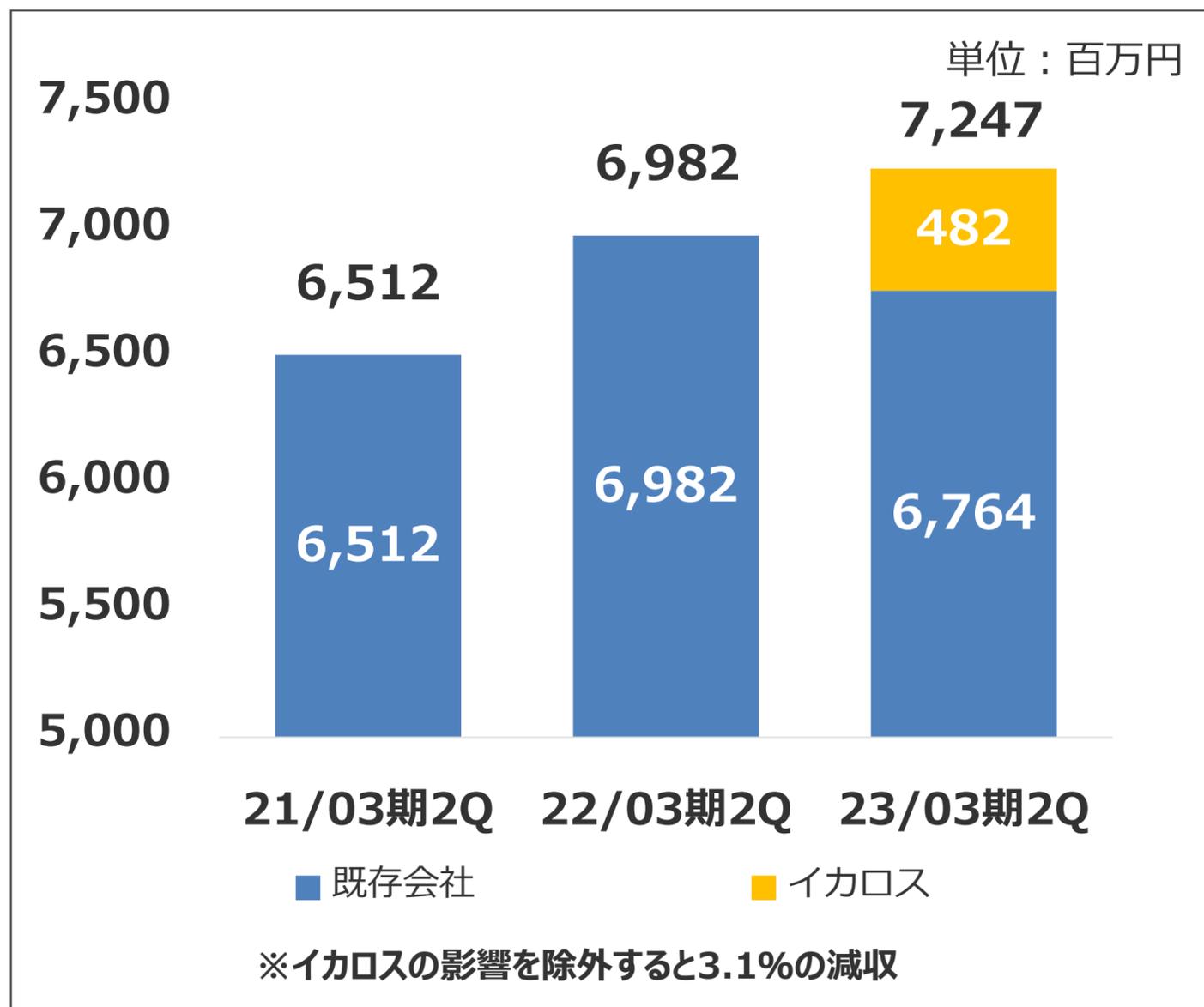
2023年3月期 第2四半期連結業績

単位：百万円

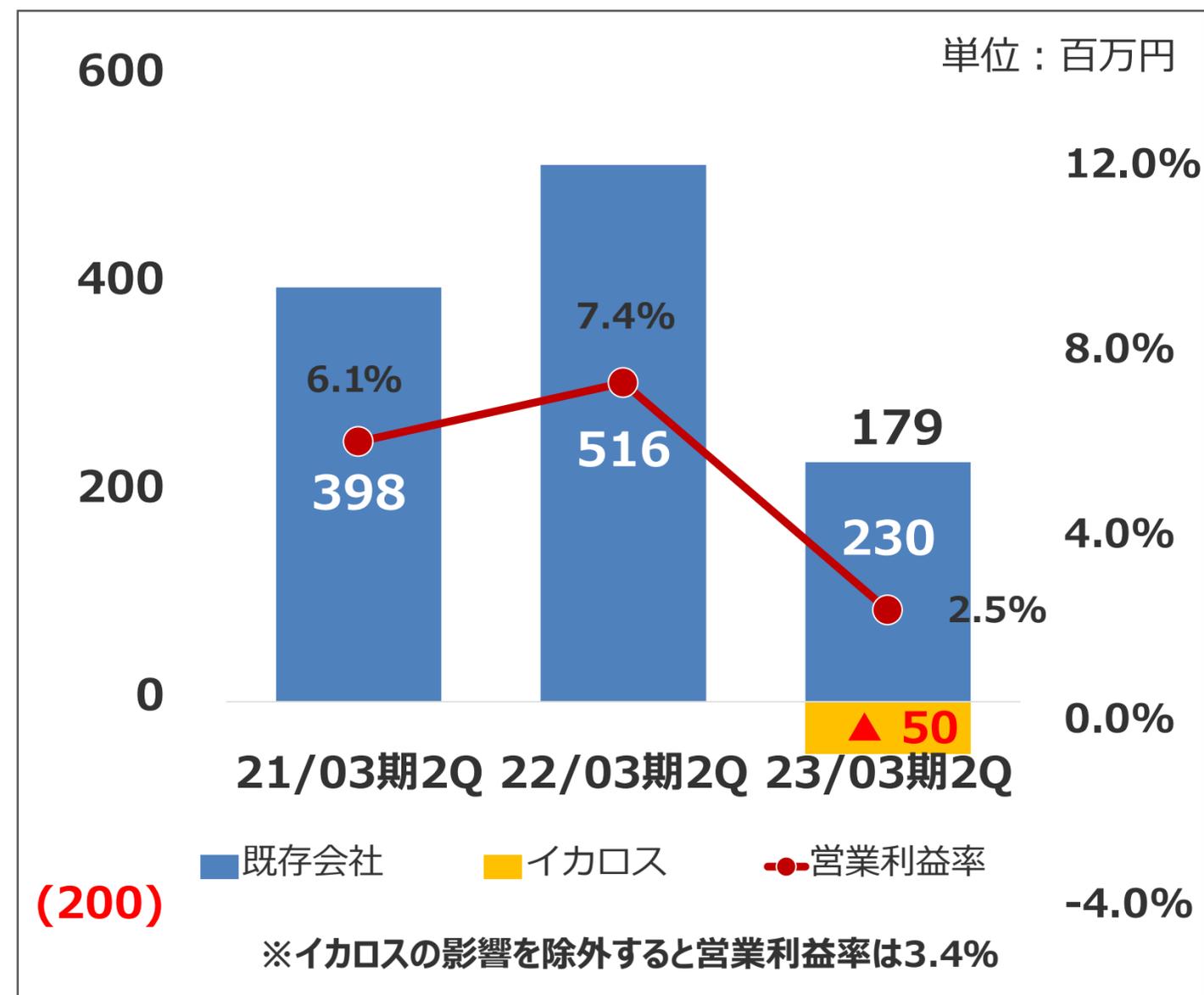
	22/03期 第2四半期	23/03期(当期) 第2四半期		
	実績	実績	前期比	
売上高	6,982	7,247	+3.8%	+264
営業利益	516	179	▲65.2%	▲336
経常利益	551	213	▲61.4%	▲338
当期純利益	603	147	▲75.6%	▲456

連結業績推移（3期比較）

■売上高



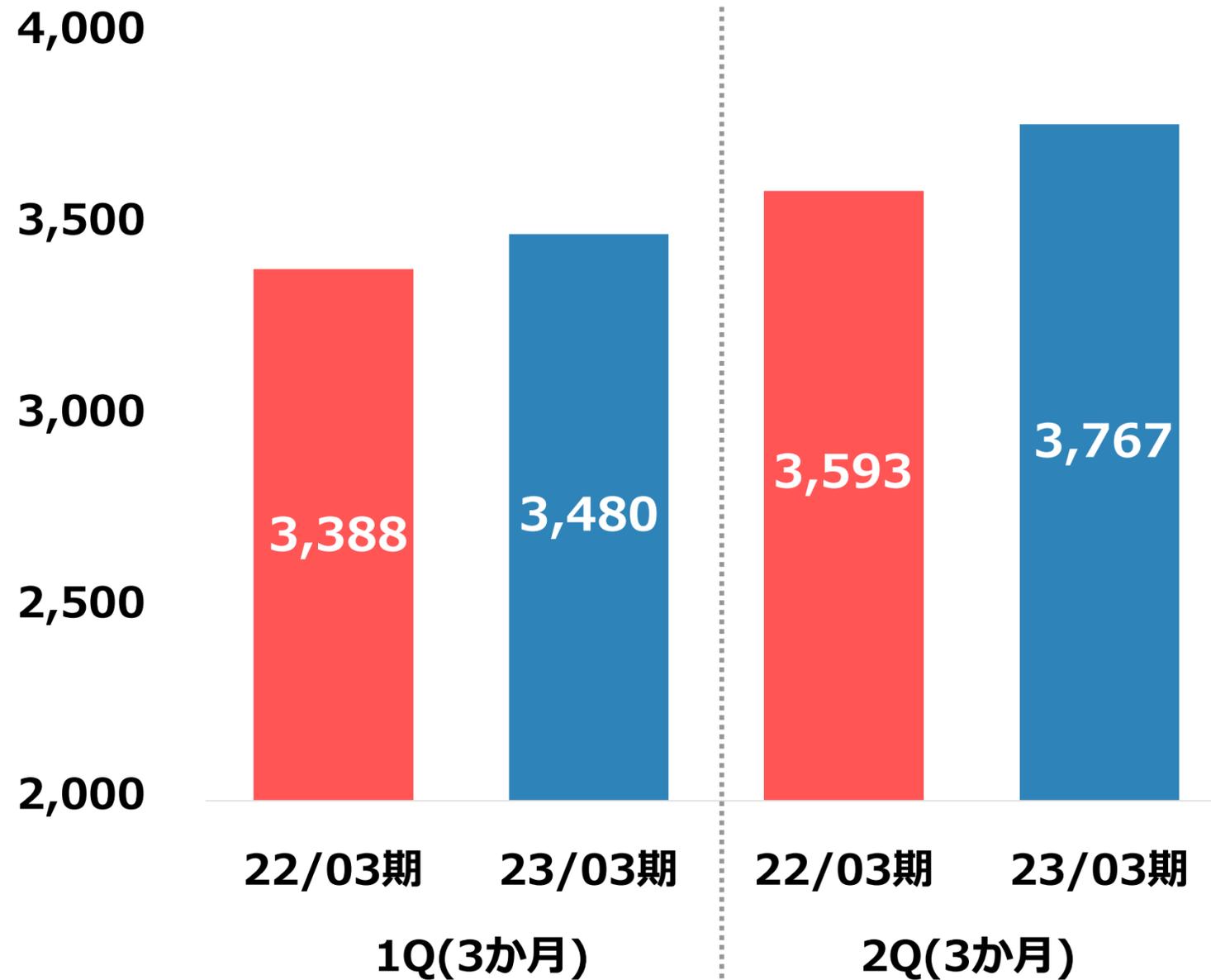
■営業利益・営業利益率



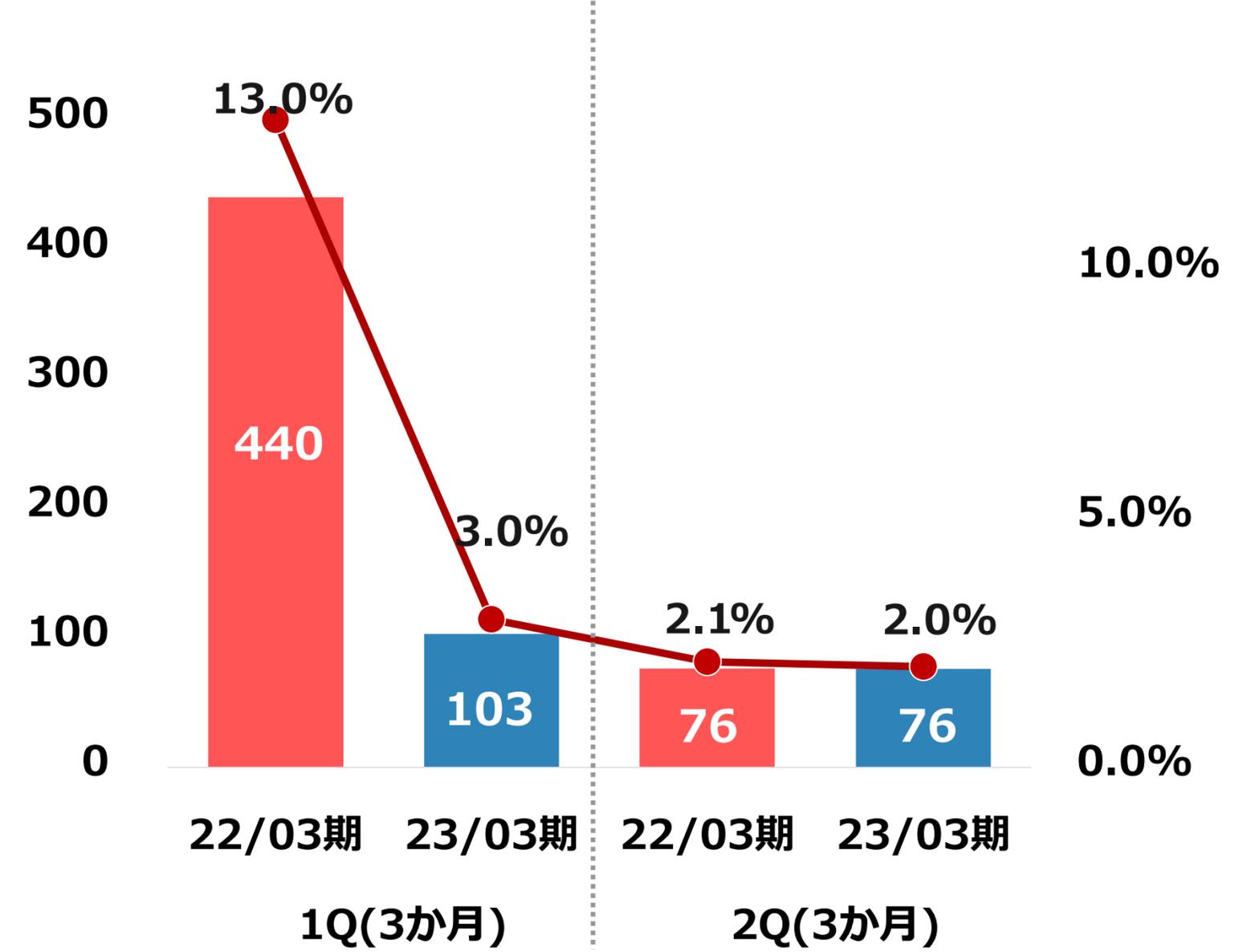
連結業績推移（四半期比較）

単位：百万円

■ 売上高

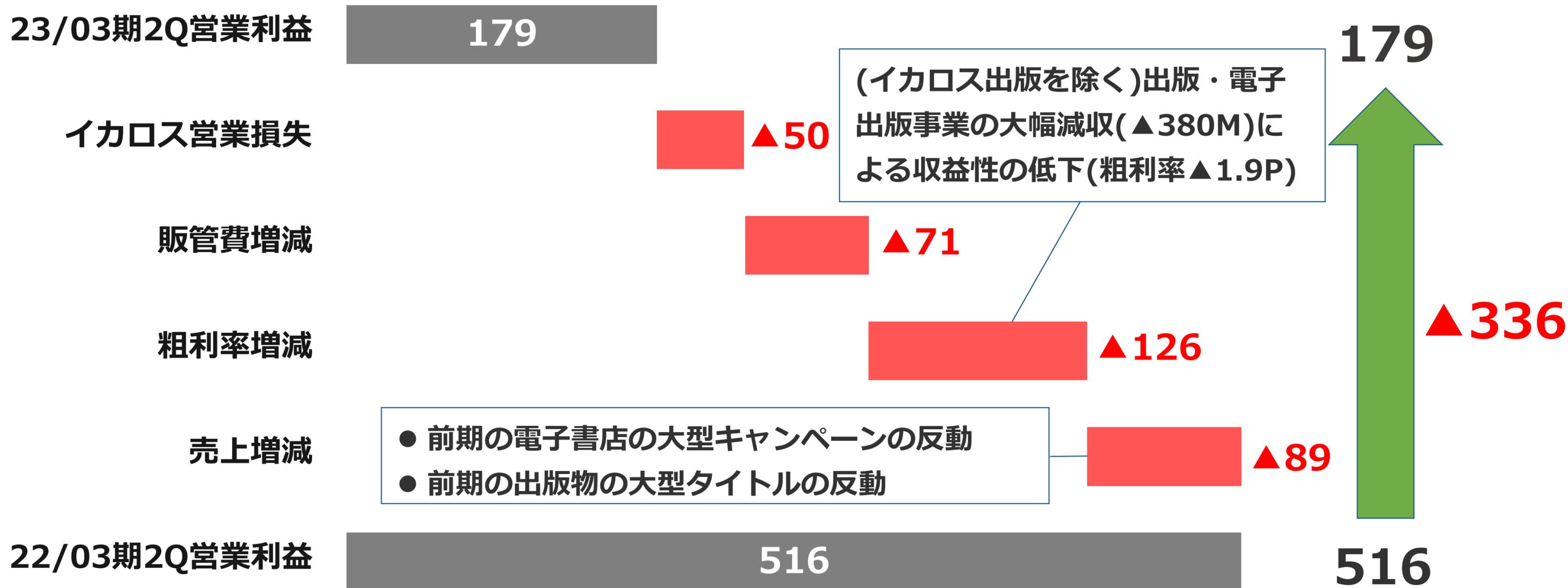


■ 営業利益と営業利益率



2023年3月期 第2四半期 営業利益の増減要因

単位：百万円



※イカロス出版連結の影響はイカロス営業損失に表示しており、その他の項目の増減額からは除外しております。

事業区分・セグメント別業績概要

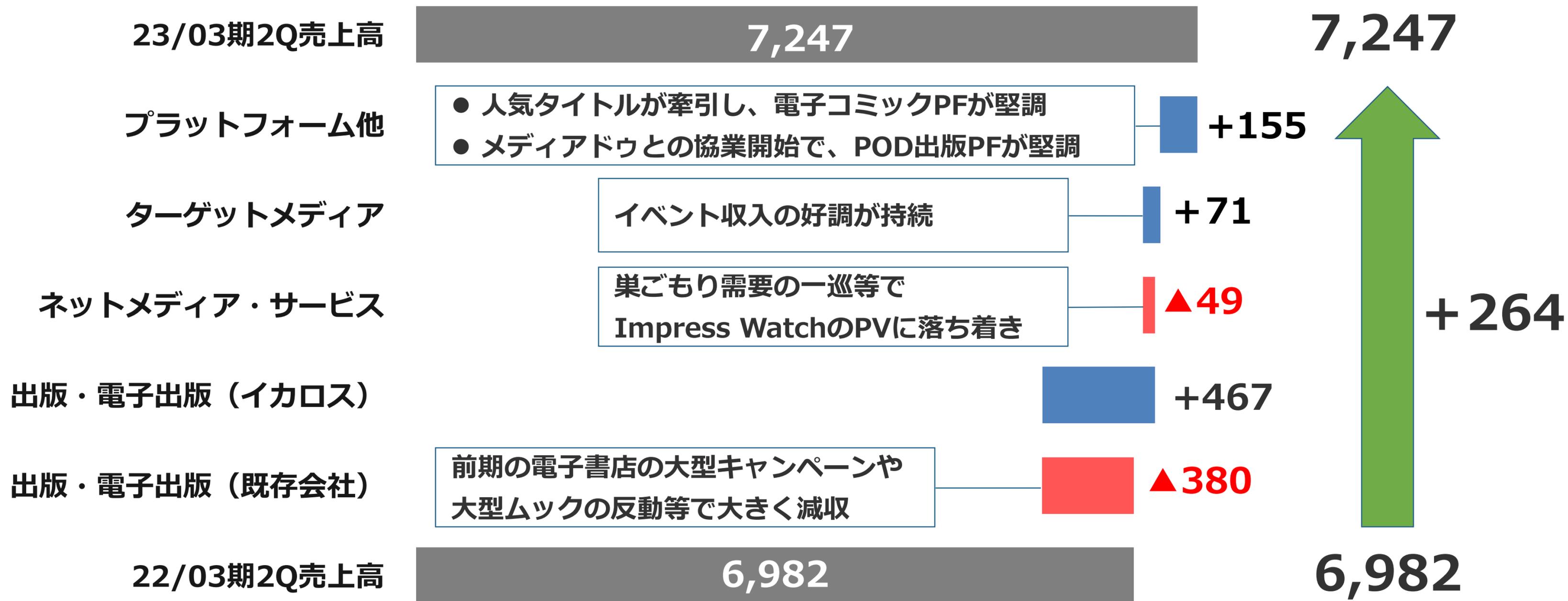
2023年3月期 第2四半期 事業区分別売上高

単位：百万円

事業区分	22/03期	23/03期(当期)		
	実績	実績	前期比	
コンテンツ事業	5,786	5,889	+1.8%	+102
出版・電子出版	3,774	3,861	+2.3%	+87
ネットメディア・サービス	908	859	▲5.5%	▲49
ターゲットメディア	520	591	+13.8%	+71
ソリューション	583	576	▲1.2%	▲7
プラットフォーム事業	1,195	1,358	+13.6%	+162
合計	6,982	7,247	+3.8%	+264

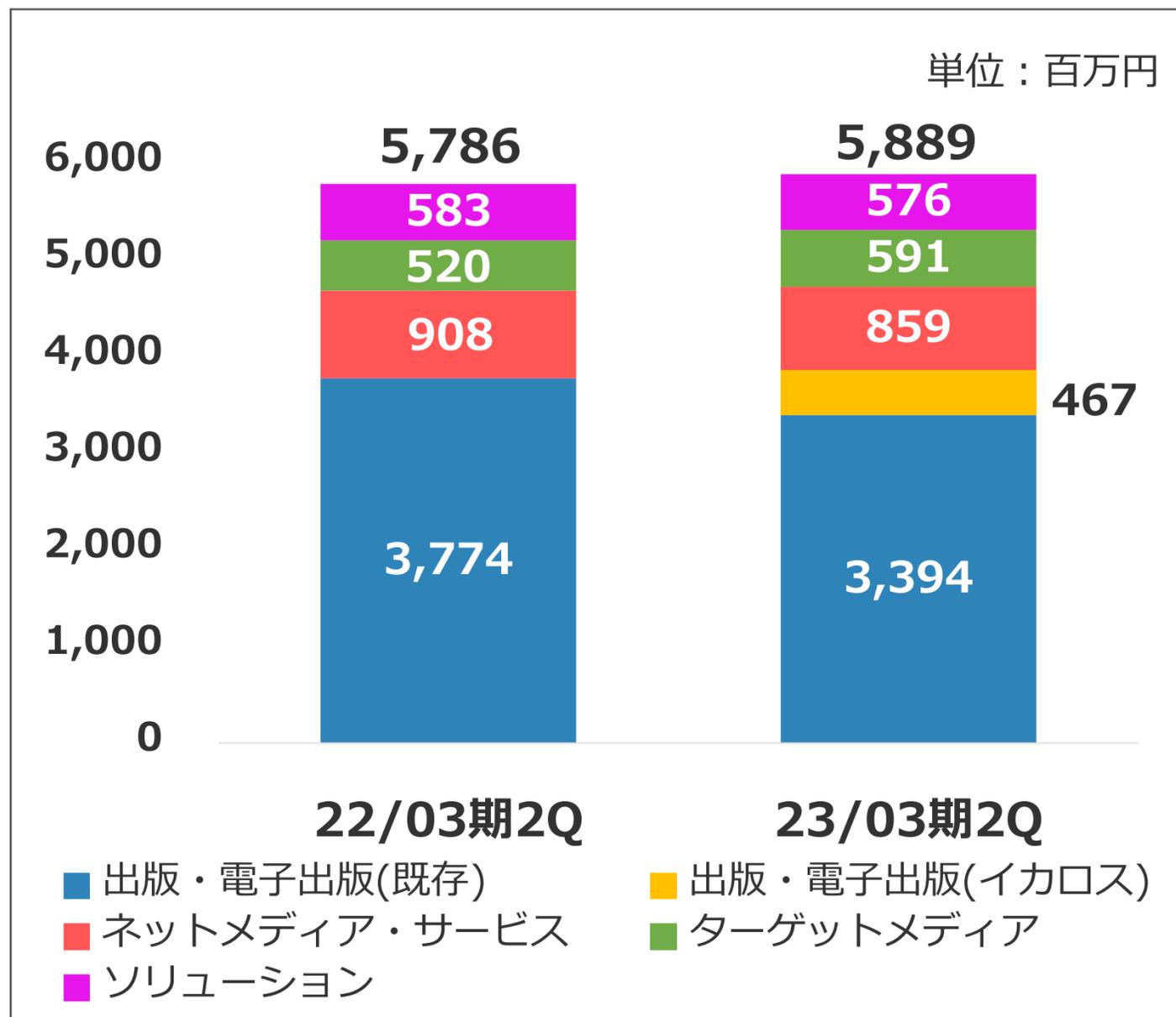
2023年3月期 第2四半期 事業区分別売上高の増減サマリー

単位：百万円



2023年3月期 第2四半期 事業区分別売上高：コンテンツ事業

■コンテンツ事業売上高

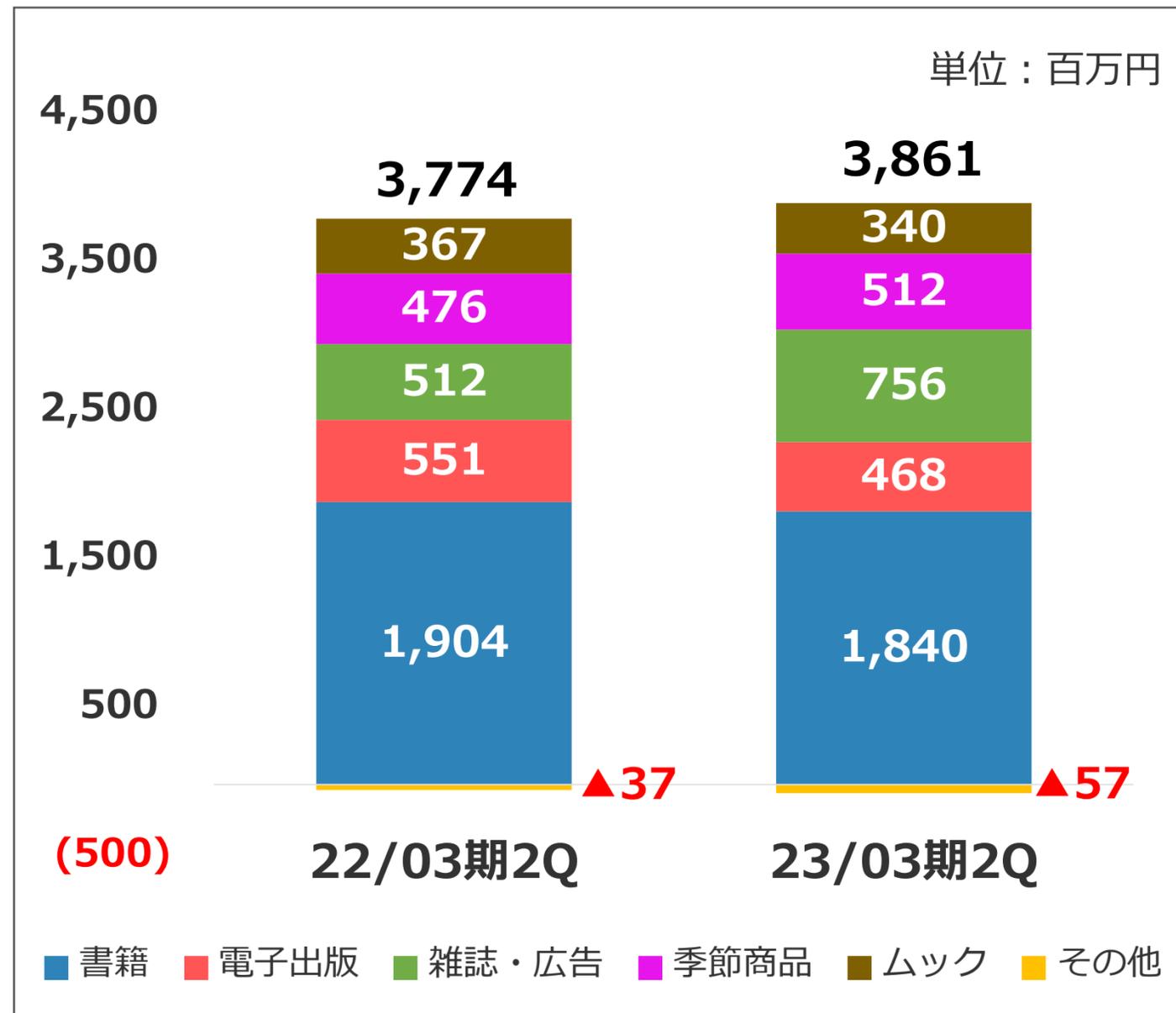


コンテンツ事業：+1.8% (+102M) の増収

- 出版・電子出版：+2.3% (+87M) の増収
イカロス出版連結で+467Mも、既存会社は前期の電子書店の大型キャンペーンや音楽セグメント等の大型タイトルの反動、巣ごもり需要の一巡による書籍の出荷減少等で大幅な(▲380M) 減収
- ネットメディア：▲5.5% (▲49M) の減収
巣ごもり需要の一巡で、ITセグメントのImpress WatchのPVに落ち着き、不透明な景気動向も影響し、デジタル広告が減収
- ターゲットメディア：+13.8% (+71M) の増収
ITセグメントの大型イベントが好調を継続し、増収

2023年3月期 第2四半期 事業区分別売上高：コンテンツ事業_出版・電子出版

■コンテンツ事業：出版・電子出版売上高



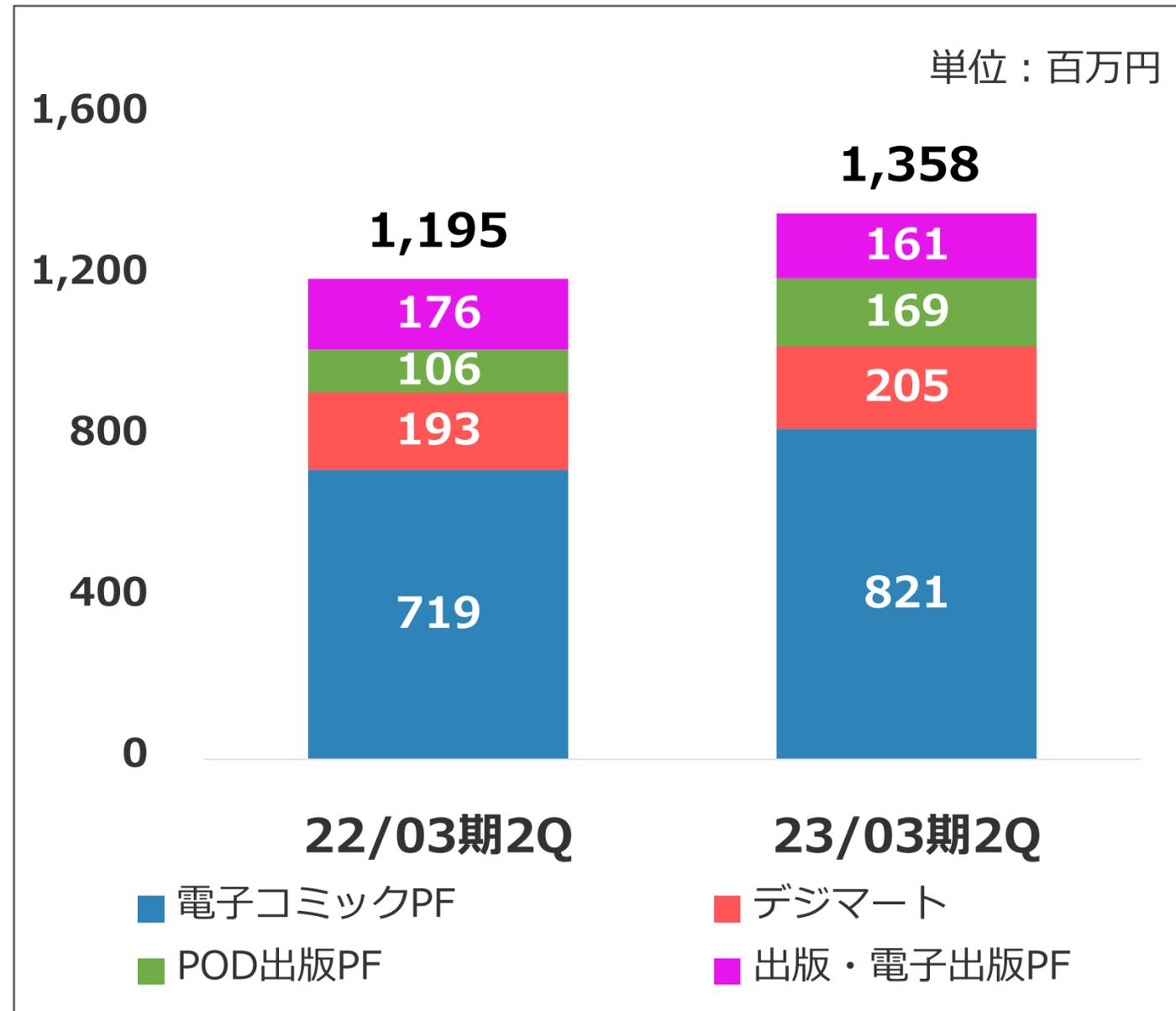
出版・電子出版：+2.3% (+87M) の増収

※うち、イカロス出版連結の影響+467M

- 書籍：▲3.3% (▲63M) の減収
巣ごもり需要の一巡等により既刊書籍の出荷が減少
- 電子出版：▲15.0% (▲82M) の大幅減収
前期電子書店の大型キャンペーン（100M規模）の反動
- 雑誌・広告：+47.6% (+244M) の大幅増収
イカロス出版連結の影響+289Mも、既存会社は減収
- 季節商品：+7.6% (+36M)
カレンダーの刊行点数増加による増収
- ムック：▲7.4% (▲27M) の減収
イカロス出版連結の影響+133Mも、前期の音楽及び山岳・自然セグメントの大型タイトルの反動で減収

2023年3月期 第2四半期 事業区分別売上高：プラットフォーム事業

■プラットフォーム事業売上高



プラットフォーム事業：+13.6% (+162M)
電子コミックPF、POD出版PFの堅調な推移で増収

- 電子コミックPF：+14.1% (+101M) の増収
人気タイトルの牽引で、出版社向けサービスが好調
- デジタルマート：+6.6% (+12M) の増収
取引高堅調、楽器店からの決済サービス収入が増加
- POD出版PF：+59.4% (+63M) の増収
メディアドゥとの協業開始等により増収
- 出版・電子出版PF：▲8.4% (▲14M) の減収
パートナー出版社の取扱減により手数料収入等が減少

2023年3月期 第2四半期 セグメント別概況

- 出版・電子出版事業の厳しい動向を受け、IT、音楽、デザイン、山岳・自然といった出版を収益基盤とする主要セグメントが軒並み減収・減益の結果となった。
- 特に減益幅が大きい、ITについては、巣ごもり需要の一巡や不透明な景気動向によるネットメディアの減収が加わり、音楽については、前期の大型ムック刊行の反動が大きい。
- 航空・鉄道については、イカロス出版連結の影響で、売上高は大きく拡大も、事業構造改革のフェーズにあり、赤字幅も大きく拡大。
- 唯一、堅調なセグメントは、モバイルサービス。マンガコンテンツの開発投資は拡大しているものの、人気タイトルが牽引し、電子コミックプラットフォームが好調で、増収増益。なお、その他セグメントについては、POD出版プラットフォームにおけるメディアドゥとの協業開始により増収。

2023年3月期 第2四半期 セグメント別売上高・セグメント利益

単位：百万円

セグメント区分	売上高		セグメント利益	
	金額	前期比	金額	前期比
IT	2,970	▲2.9%	459	▲106
音楽	899	▲12.7%	▲72	▲132
デザイン	483	▲9.0%	▲43	▲51
山岳・自然	861	▲13.2%	26	▲46
航空・鉄道	640	+239.9%	▲76	▲67
モバイルサービス	927	+12.6%	198	+36
その他	665	+53.5%	▲3	▲6
全社 + 消去	▲201	—	▲308	+38
合計	7,247	+3.8%	179	▲336

2023年3月期 連結業績予想の修正

2023年3月期 連結業績予想の修正について

- 第2四半期は、イカロス出版の業績を取り込んだことによる売上の増加はあったものの、不透明な経済環境下における消費及び広告出稿等の低迷に加え、書籍の大幅な刊行遅れや出荷規模の縮小も重なり、期首時点の連結業績予想を大きく下回る実績となった。
- 通期の連結業績予想は、第2四半期が期首時点の予想を大きく下回る実績になったことに伴い、下方に修正。下半期の業績動向は、ウクライナ情勢の長期化や円安、原材料の価格高騰等の複合的な要因で経済市況が悪化する中、広告出稿等の法人案件の見通しは厳しいものの、IT分野のターゲットメディア、プラットフォーム事業は上半期に引き続き堅調な推移を想定。
- 加えて、版元各社において、上半期の書籍等の刊行遅れの挽回と販売増・コスト削減等のリカバリー施策の実施により、期首の下半期の連結業績予想を概ねトレースする見通し。

2023年3月期 連結業績予想の修正内容

単位：百万円

※22/5公表の期首予想から変更

	通期			上半期			下半期		
	今回修正	前回発表	増減	実績	前回発表	増減	今回修正	前回発表	増減
売上高	15,400	15,900	▲500	7,247	7,800	▲552	8,152	8,100	+52
営業利益	600	860	▲260	179	450	▲270	420	410	+10
経常利益	700	960	▲260	213	500	▲286	486	460	+26
当期純利益	550	750	▲200	147	400	▲252	402	350	+52

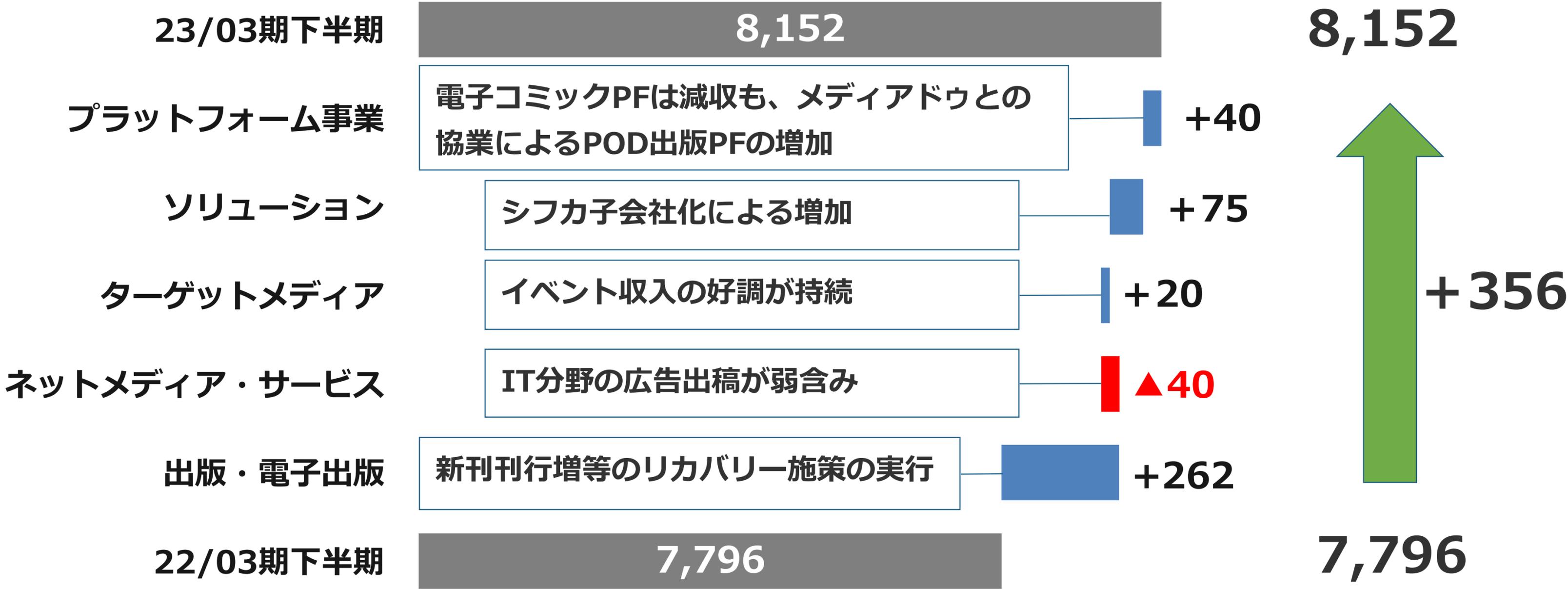
2023年3月期 連結業績予想の修正内容：前期からの増減

単位：百万円

	通期			上半期			下半期		
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減
売上高	15,400	14,778	+621	7,247	6,982	+264	8,152	7,796	+356
営業利益	600	848	▲248	179	516	▲336	420	331	+88
経常利益	700	941	▲241	213	551	▲338	486	389	+97
当期純利益	550	875	▲325	147	603	▲456	402	272	+130

2023年3月期 下半期の売上見通し（事業区分別・前期比）

単位：百万円



(参考資料) 当社グループの概要

当社グループの「セグメント」と「事業」





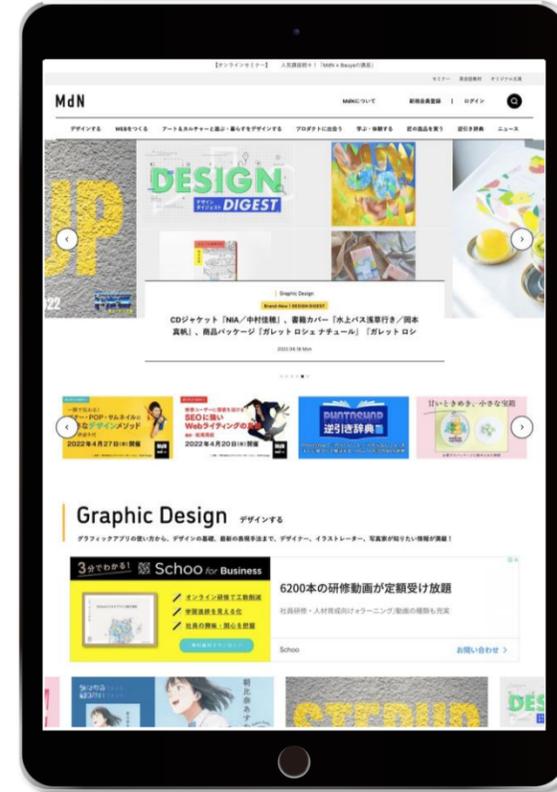
専門書籍・雑誌

電子書籍

年賀状ムック
カレンダー

コンテンツ事業 [メディア&サービス事業]

ネットメディア・サービス



デジタル総合
ニュース

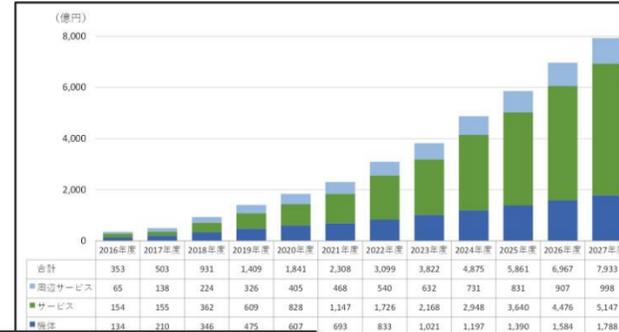
登山

デザイン

音楽



IT Leaders



サービスの3つで構成される。ポート型、潜水型)の完成品機体の国内での販売金額。軍用。ただし、ソリューションの一部のみドローンが活用体が自社所有のドローンを活用する場合は、外部企業に委託。期メンテナンス費用、人材育成や任意保険等の市場規模。

出所：インプレス総合研究所作成



ビジネスメディア

調査報告書

イベント・セミナー

コンテンツ事業 [ソリューション事業]



※天夢人が事務局の運営を受託

企業・自治体等のSP・PRツール、Webサイト受託制作

プラットフォーム事業



EC
プラットフォーム



電子コミック
プラットフォーム



出版流通
プラットフォーム

※株式会社IPGネットワークの概要

■概要

設立：2014年7月1日

(旧) 株式会社Impress Professional Works

従来の出版事業を中心とした共通事業基盤の構築・運営から領域を拡大し、デジタル事業等におけるグループ共通のサービス基盤の構築・運営の役割まで担う機能会社として2022年7月に分割・商号変更。

■サービスの一例

出版社が公式に運営するオンデマンドプリントTシャツモール「[pTa.shop \(ピーティーイー・ショップ\)](https://pTa.shop)」をオープン。オンデマンドプリント方式ならではの、独創的、個性的なデザインを実現。

【オンデマンドプリントTシャツモール：pTa.shop】



株式会社小学館、株式会社新潮社、株式会社白泉社他、参加出版社は12社にのぼる（2022年11月時点）



在庫レス、返品レス、廃棄レスでサステナブルなショップ運営を目指す